

佐賀県景気動向指数

令和7年3月31日
政策部統計分析課

1 令和7年1月の動向

- ◆ 先行指数 **25.0%** …… 5か月振りに50%を下回った。
- ◆ 一致指数 **50.0%** …… 2か月連続で50%になった。
- ◆ 遅行指数 **100.0%** …… 2か月連続で100%になった。

〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(0)	
《先行系列》 採用系列数 8 拡張系列数 2.0 指数 25.0	新規求人数 新設住宅着工戸数	5か月連続 3か月振り	所定外労働時間数 鉱工業生産指数(生産財) 乗用車新車登録台数 鉱工業在庫率(生産財・逆) 企業倒産件数(逆) 銀行貸出残高(☆)	4か月振り 5か月振り 3か月連続 2か月連続 2か月振り 3か月振り		
《一致系列》 採用系列数 7 拡張系列数 3.5 指数 50.0	有効求人倍率(就業地別) 就職率 輸入総額(唐津港+伊万里港)	5か月振り 2か月振り 2か月連続	鉱工業出荷指数(総合) 大型店売上高(☆) 着工建築物床面積(産業用)	2か月連続 2か月振り 2か月振り	鉱工業生産指数(総合)	-
《遅行系列》 採用系列数 6 拡張系列数 6.0 指数 100.0	常用雇用指数 雇用保険受給実人員(逆) 陶磁器生産重量 消費者物価指数(☆) 鉱工業在庫指数(総合) 銀行預貸率	6か月連続 2か月連続 2か月連続 2か月連続 3か月連続 5か月連続				

(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

(注)・センサス局法X-12-ARIMAで季節調整をしている指標についてはデータを追加するたびに季節調整要因が変更されるため、
 遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。

- ・鉱工業指数など一部の指標は補正を行うことから、同様に遡及して数値が変わることがあります。
- ・有効求人倍率は、平成17年1月までは「受理地別値」を使用し、平成17年2月以降は「就業地別値」を使用しています(就業地別値は、平成17年2月分からデータが公表されているため)。また、毎年1月分公表時に新季節指数に改定されることから、遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。
- ・令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分から、これらを除外した指標により先行指数を算出しています。なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表値とは数値等が異なります。
- ・令和6年2月分公表から、「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、全系列(先行・一致・遅行)において、変化方向が一部変わっています。
- ・参考値として掲載しているCI一致指数について、令和7年1月分公表から計算基準を更新したため、全期間で遡及して数値を変えています。